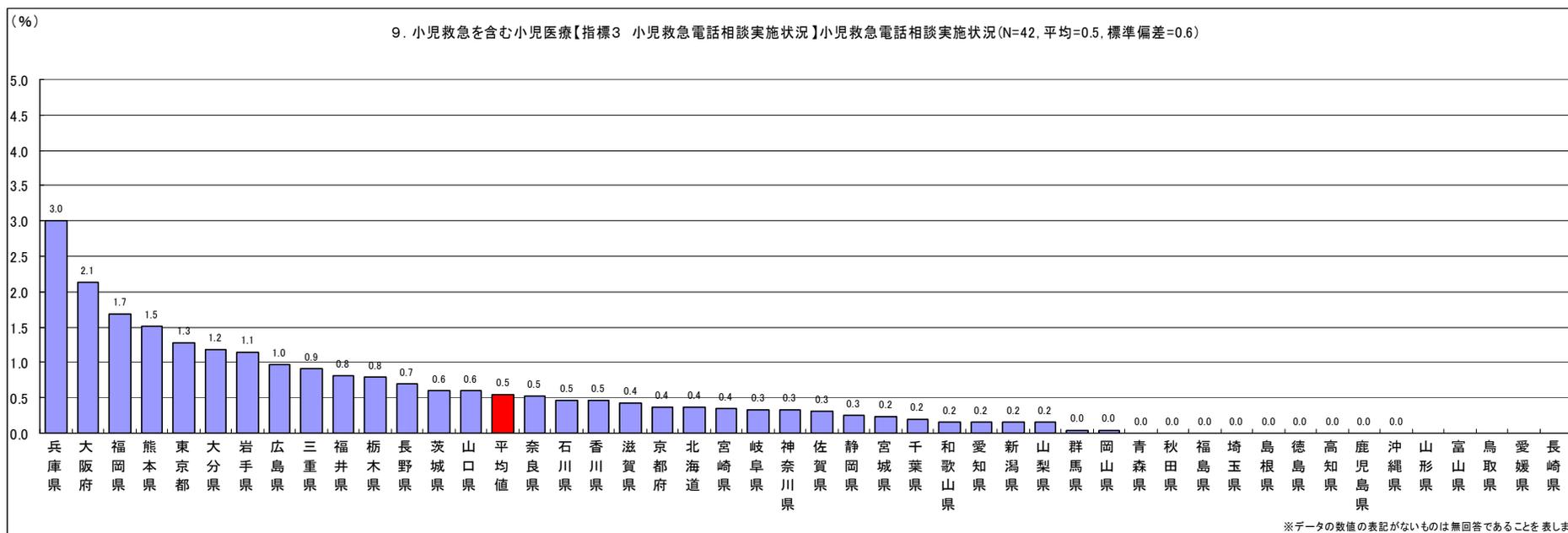
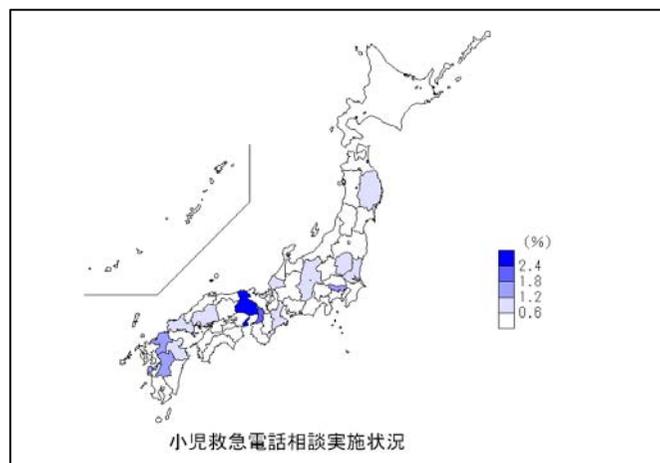


小児医療-3 小児救急電話相談実施状況

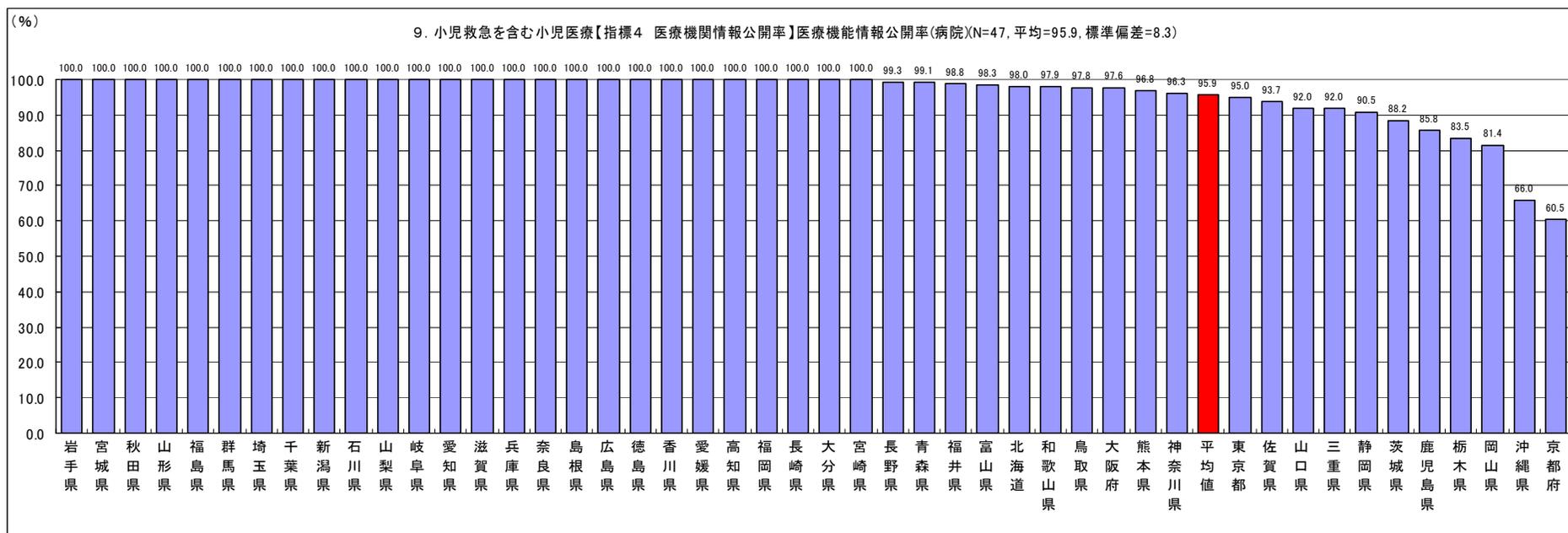


163

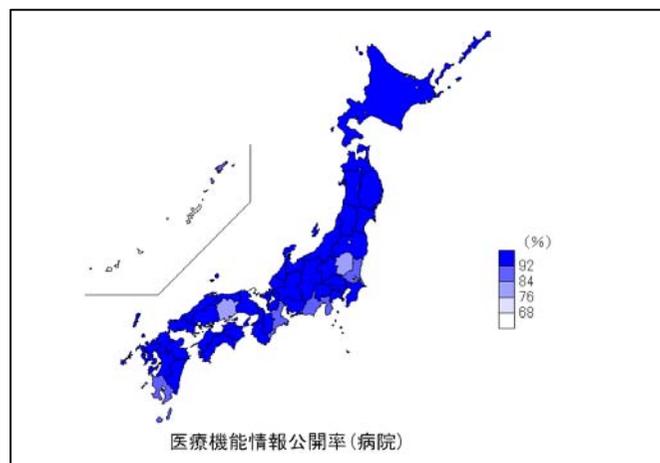


- 「どのくらい病気の相談ができるか」を把握するための指標として用いています。
- 兵庫県が最も高い結果です（山形県、富山県、鳥取県、愛媛県、長崎県は無回答）。平均値は0.5、標準偏差は0.6です。
- 地域的な傾向は特に見られませんが、兵庫県の実施状況が特に高くなっています（兵庫県は県単独事業と国の事業との両方を実施）。

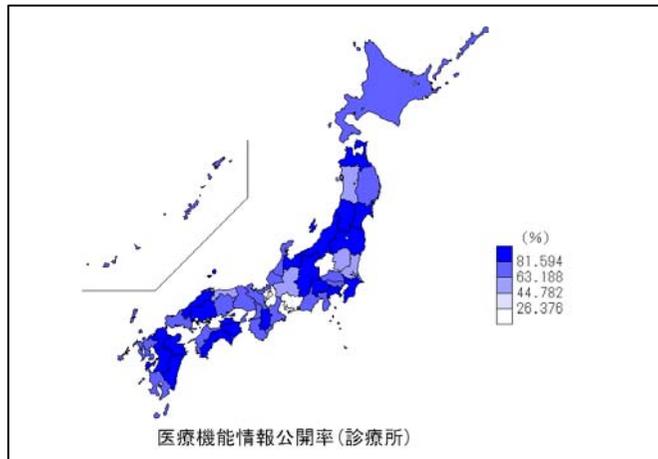
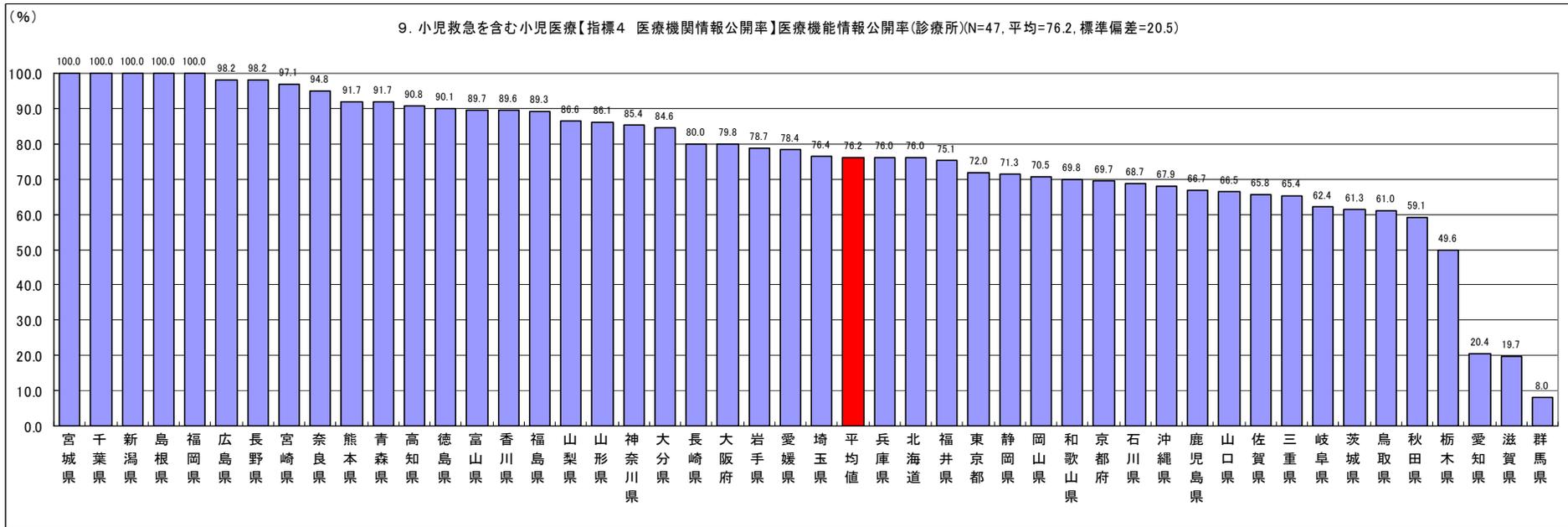
小児医療-4 医療機関情報公開率



164



- 「どこに行ったらよいか」を見るための指標として用いています。
- 指標の結果は「がん - 5」「脳卒中 - 4」「急性心筋梗塞 - 4」「糖尿病 - 4」「救急医療 - 5」「災害医療 - 3」「へき地医療 - 6」「周産期医療 - 6」と同様です。



- 指標の結果は「がん - 5」「脳卒中 - 4」「急性心筋梗塞 - 4」「糖尿病 - 4」「救急医療 - 5」「災害医療 - 3」「へき地医療 - 6」「周産期医療 - 6」と同様です。

■都道府県からの意見■

- 病院、診療所に係る医療機能情報の公開について、4 疾病 5 事業共通の指標となっているところだが、小児医療など特定の診療科に係るものについて他の診療科を含めた数値では、実態を表したものになっていないのではないか。小児医療であれば、小児科等の数を分母に割合を算定したほうが、実態に即したもので、誤解がないのではないか。